

鳶巣シェアハウスプロジェクト通信

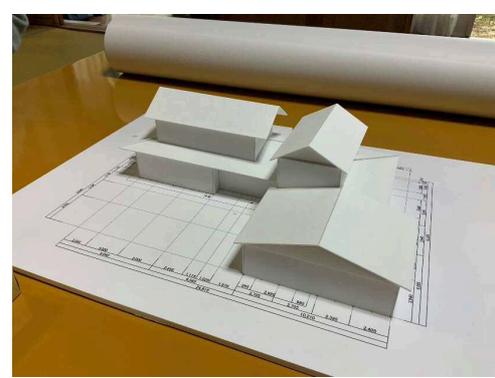
— 第2号 —

編集・発行

地・学連携による空き家活用プロジェクト事務局

(一般財団法人島根県建築住宅センター内 TEL:0852-26-4577)

令和2年12月



地・学連携の取組が続いています！

令和2年5月にスタートした鳶巣地区におけるシェアハウスプロジェクトは、多くの皆様の協力を得て順調に進んでいます。これまで片付けワークショップや設計ワークショップなど地域の皆様と学生が一緒に行うイベントを実施してきました。参加された皆様からは好意的な感想をいただいていることに感謝の思いでいっぱいです。今回のプロジェクトを通じて、鳶巣地区の皆様や県立大学の学生をはじめ、様々な方との新たなつながりが生まれていることに、今後の発展の可能性を感じています。引き続きご協力のほどよろしくお願いします。

第2回設計ワークショップ 令和2年12月12日

11月1日に実施した第1回設計ワークショップに引き続き、2回目の設計ワークショップを実施しました。地域の皆様や県立大学の学生、島根大学の学生、市職員などが4つの班に分かれて、1回目より具体的に各部屋の使い方や、デザインの方向性などについて検討を行いました。島根大学の学生が作ってくれた模型が活発な議論に良い効果を与えてくれました。今後は2回の設計ワークショップで出た意見を参考に設計を行っていきます。各班の検討結果は裏面をご覧ください。



地・学連携！

ワークショップの後に「焼き芋会」を行いました！

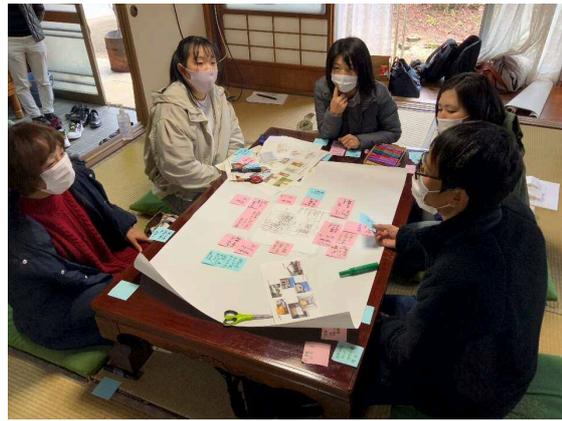
設計ワークショップ後には、地域の方に準備をいただいた焼き芋を参加者全員でいただきました。芋も「鳶巣産」です。地・学連携は本プロジェクトの主要なテーマです。人と人の新たなつながりが次の空き家活用プロジェクトへ続いていくことを願っています。



第2回設計ワークショップの検討結果

A 班 温かみのあるシェアハウス

- ・玄関はおしゃれな扉をつけてかわいい感じにしたい。
- ・北側の角部屋は暗くてジメジメしているので、シアタールームや物置、勉強スペースにする。
- ・洗面所は2つ作り、鏡を大きくして女子学生が使いやすいようにする。
- ・1階の居間を広くして、座って話ができる温かい空間にしたい。
- ・外構は、害虫や動物の存在が分かり易くするため枕木を敷きつめる。雑草予防にもなる。
- ・広い庭を生かして家庭菜園をしてはどうか。



B 班 心地よい距離感のシェアハウス

- ・水回りは同じ時間に使うこともあるので、鏡や洗面台は大きく、広いほうが便利。
- ・キッチンはみんなで作業しやすいように広くする。横に並ぶだけでなく、対面で作業できる大きな机があるとみんなで仲良く作業ができる。
- ・ウォークインクローゼットがほしい。
- ・古民家の雰囲気（梁など）を崩さず生かしたい。内装は木など温かみのあるものがいい。
- ・離れ1階の土間は何か有効利用したい。



C 班 デザイン・機能・防犯

- ・リモート授業などでパソコンが必須なためコンセントはたくさん必要。
- ・スマホをアラーム代わりに使っているのでベッドの近くにコンセントがあると便利。
- ・椅子に座って授業を受けるためのデスクがほしい。スタディルームがあったほうがいい。
- ・畳を生かした形で、こたつを置いて団らんスペースにするのもいい。
- ・防音のために壁を厚くしたり、素材を工夫したりして対策が必要。
- ・防犯対策のため入り口を1カ所にまとめる。



D 班 全集中 壺の型 新生活の呼吸

- ・個室は母屋北側と離れの和室を利用したい。
- ・水回りのデザインは和モダンで統一する。
- ・土間を無くすほうが便利。
- ・階段の勾配を緩くし、手すりをつける。防犯カメラ、外灯を設置する。
- ・プライバシー確保のため居室の入口には鍵をつけ、壁は厚くする。
- ・犬をみんなで飼うための犬小屋を設置する。
- ・縁側の外にデッキスペースをつける。床の高さが高いとお年寄りには上り下りが難しいので、一部をスロープにしてはどうか。

